

平成 22 年 5 月 31 日

厚生労働省大臣官房国際課 御中

総括研究報告書

研究年度：平成 21 (2009) 年度

研究課題名：途上国における健康教育教材としての小学校教科書の役割
強化に関する研究

文献番号：200903013A

研究分野名：行政政策研究分野

研究事業名：地球規模保健課題推進研究

主任研究者氏名：野中 大輔

所属機関名：独立行政法人国立国際医療研究センター
国際臨床研究センター 国際保健医療研究部

平成 22 年 5 月 31 日

厚生労働省大臣官房国際課 御中

総括研究報告書

研究年度：平成 21 (2009) 年度

研究課題名：途上国における健康教育教材としての小学校教科書の役割
強化に関する研究

文献番号：200903013A

研究分野名：行政政策研究分野

研究事業名：地球規模保健課題推進研究

主任研究者氏名：野中 大輔

所属機関名：独立行政法人国立国際医療研究センター
国際臨床研究センター 国際保健医療研究部

研究の目的

これまで開発途上国においては、感染症が死因や疾病負荷の大半を占めていた。しかし近年、鳥インフルエンザ等の新興感染症の出現や生活習慣病の増加も報告されており、疾患傾向が大きく変化しつつある(Boutayeb 2006)。そのため、健康教育の重要性が再認識されて来ている(Khor 2008)。

一般に途上国においては、健康増進に関する情報ソースの不足、全人口に占める高い子供の割合、保健人材の不足などが共通して見られる。従って、特に途上国における小学生用の学習教科書は、最も身近にあり、かつ信頼できる情報を学童や地域へ提供し得る健康教育教材としても重要な役割を担っている。しかしながら、現地の疾患傾向の変化を反映して、教科書の内容が適切に更新されているかどうかは、これまでほとんど調べられて来なかった。さらに、スキル重視の健康教育や地域社会を巻き込んだ健康教育など WHO 等の国際機関のイニシアティブに呼応して、教科書の内容が改訂されているかどうかという点も、これまで注目されて来なかった。その上、先進国における教科書でさえもその記載に科学的な誤りが時に見られることが報告されているが(Irala 2008)、途上国における教科書が発信している保健情報の質は、これまで調べられてこなかった。教科書は、途上国の学童のみならず学童の親も最もアクセスしやすい健康教育教材でもある。教科書における保健衛生に関する内容の質の向上は、保健指標の改善のための最も効果的かつ効果的な方法の一つであると考えられる。さらに、学童に対する健康教育の効果は、学童だけに留まらず学童の親や地域の人々に対しても効果が波及することが報告されている(Onyango-Ouma 2005, Nonaka 2008, Ayi 2010)。

そこで、本研究の目的は、教科書に記載されている保健情報の正確性を点検し、さらに、その保健情報が国内外の健康問題を適切に反映しているかどうかを調べ、健康教育教材としての教科書の役割強化に寄与する知見を導くことである。

方法

本研究は、アジア・アフリカ地域の途上国8カ国(ラオス、カンボジア、スリランカ、ネパール、バングラデシュ、ガーナ、ニジェール、ベナン)を対象とする。教科書や教師用の指導要綱等は、各対象国に赴き教育省の協力の下に入手する。同時に、教科書担当官等関係者のキー・インフォーマントに対し、半構造的質問票を用いたインタビューを行い、教科書発行に関するガイドラインなど必要な情報を収集する。小学校教科書以

外にも、必要に応じて副読本や中学校教科書も資料として扱う。教育省訪問の次に、保健省を訪問する。そこで、教育省で行った同様の手法を用いて、対象国の疫学情報や健康教育等に関する情報を収集する。状況に応じて、教科書製作会社や WHO、UNICEF などの現地事務所からも資料や情報の収集を行う。以上の現地におけるデータ収集は、主任研究者である野中が主に行う。

得られたデータの解析は、以下の三要素（1～3）に分類されたそれぞれの変数について、定性的（記述の有無や記述内容の科学的な正誤）かつ定量的（記述が有る場合はその量）に分析する。

1. 教科書特有の変数

- 作成・改定時における保健専門家の関与の有無
- 記述の更新頻度（過去 10 年間ににおける更新頻度）
- 保健衛生に関連する記述が教科書全体量に占める割合
- 保健衛生に関する記述の科学的な正確性

2. 対象国内の保健動向に関する変数

- ナショナル・ポリシー（エイズ、マラリア、学校保健等）で強調されている事項に関する記述
- 対象国で問題となっている疾患や事故、環境汚染に関する記述（疫学情報と比較）

3. 国際的な保健動向に関する変数

- WHO（Health Promoting School）によって推奨されているスキルベースの健康教育や地域社会を巻き込んだ健康教育等に関する記述
- パンデミックとなりうる鳥インフルエンザ等の感染症や地球温暖化などの国際的な問題に関する記述

分担研究者の溝上哲也（国立国際医療研究センター）は、以上の変数の内、生活習慣病・産業保健・環境汚染等に関係する変数の分析を行う。小林潤（国立国際医療研究センター）は、感染症に関する変数の分析を行う。そして神馬征峰（東京大学）は、国際的な保健動向に関する変数の分析を行う。野中は、それら以外の変数の分析と全体の総括を

行う。研究開始から終了まで、教科書に造詣が深い教育専門家を研究協力者として加え、教育セクターの視点も取り込みながら研究をまとめる。

一年目は、文献レビューとインタビュー時に用いる質問票の作成を行った。さらに、ベナン国をモデルとしてデータ収集・解析の試行を行い、調査手法を確立させた。二年目（2010年）および三年目（2011年）は、モデル国としたベナン国を除く、7対象国におけるデータの収集と解析、そして論文作成を行う。なお、本研究を実施するための施設は、主任研究者や各分担研究者が現在使用している所属先の施設を用いる。これらの施設は良好な状況下であり問題はない。

結果

当初の計画通り、文献レビューと質問票の作成、およびデータの収集・解析の試行が達成された。医学系データベース（PubMed）と教育系データベース（ERIC）を用いた文献検索では、本研究に関連する20本の先行研究論文を確認した。現在は、それらの研究が発表している知見や解析手法を総説論文としてまとめ、投稿の準備を進めている。質問票は、分担研究者および教育専門家と討議を重ねながら作成した。ベナン国保健省と教育省の担当官に対して質問票の試行を行い、質問票の妥当性の検証と改良を行った。ベナン国において、小学生・中学生用の教科書48冊を収集し解析の試行を行った。マラリア、HIV/AIDSに関する国家保健政策ペーパー（ナショナル・ポリシー）も入手し、現在翻訳を行っている最中である。その他に、スリランカ国、ラオス国、ネパール国、及びバングラデシュ国、ニジェール国の研究協力者と連携し、教科書等の収集準備を開始した。バングラデシュ国およびニジェール国の教科書収集と担当官へのインタビューは終了している。現在、翻訳作業に取り組む準備を進めている。現在は、三年計画の初年度が終了した段階であるため、当初の計画通り全てのデータの収集が終了していない。データ収集・解析を試行したベナン国の教科書、特に四年生の理科には、マラリアに関する記述が見られた。マラリアは当該国において主要な死因であるが、その教科書の一頁しかマラリアについて割かれていなかった。質的には、マラリアを早期に疑うために必要な症状に関する記述がなかったり、保健政策で重視されている対策（殺虫剤処理蚊帳の使用）に関する記述がなかったり等、質・量共に不十分な内容が確認された。

なお、当初の予定では、ラオス国において調査の試行を行う予定であったが、昨今の

教科書改定による混乱のため試行はベナン国へ変更された。また、タイ国は対象国のひとつであったが政情不安のため除外された。

結論

研究は計画通りに順調に進行している。データ（教科書や質問票等）の収集・解析試行をベナン国にて行った。ベナン国では、マラリアは主要な死亡原因の一つであるが、小学生用教科書には、早期治療を促すのに必要なマラリア様症状（の自覚）に関することや、ベナン国保健政策ペーパーやロールバック・マラリア・イニシアティブなど世界戦略でも重視されている、殺虫剤処理蚊帳に関する記述は確認できなかった。まだ解析は終了していないが、実際にベナン国で確認された教科書と保健戦略とのギャップは、他の対象途上国の教科書解析の重要性を示唆した。

参考文献

- Ayi I, Nonaka D, Adjovu JK, Hanafusa S, Jimba M, Bosompem KM, Mizoue T, Takeuchi T, Boakye DA, Kobayashi J. School-based participatory health education for malaria control in Ghana: engaging children as health messengers. *Malar J*. 2010;9:98.
- Boutayeb A. The double burden of communicable and non-communicable diseases in developing countries. *Trans R Soc Trop Med Hyg*. 2006;100:191-9.
- de Irala J, Urdiain IG, López Del Burgo C. Analysis of content about sexuality and human reproduction in school textbooks in Spain. *Public Health*. 2008;122:1093-103.
- Khor GL. Food-based approaches to combat the double burden among the poor: challenges in the Asian context. *Asia Pac J Clin Nutr*. 2008;17 Suppl 1:111-5.
- Nonaka D, Kobayashi J, Jimba M, Vilaysouk B, Tsukamoto K, Kano S, Phommasack B, Singhasivanon P, Waikagul J, Tateno S, Takeuchi T. Malaria education from school to community in Oudomxay province, Lao PDR. *Parasitol Int*. 2008;57:76-82.
- Onyango-Ouma W, Aagaard-Hansen J, Jensen BB. The potential of schoolchildren as health change agents in rural western Kenya. *Soc Sci Med*. 2005;61:1711-22.

以上。
